

女性理事登用のポイント

女性理事登用の必要性



● 松阪東黒部土地改良区（三重県）

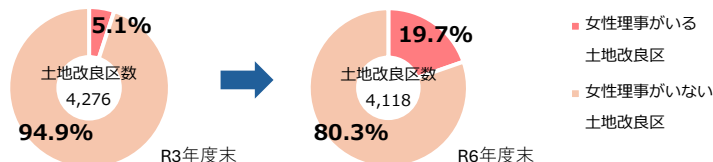
- ・組合員の意識改革につながる
- ・若い世代に関心を持っていただける
- ・土地改良区の活動を多くの方に知ってもらえる良い機会になる



● 大山山麓地区土地改良区連合（鳥取県）

- ・女性理事登用は多様性のある活動の第1歩
- ・これから地域農業を担っていく方々に幅広く土地改良区の活動に参画してほしい

■ 土地改良区（連合含む）における女性理事登用状況



女性理事を登用するうえでの工夫

① 土地改良区内での話し合い



● 大潟土地改良区（秋田県）

- ・理事会において、多様な人材の参画の必要性について話し合いを重ねた
- ・員外理事制度を活用することで、専門性やこれまでの経験を生かしながら、円滑に理事として参画できる体制を整えた

② スムーズな候補者の選定



● 伊是名村土地改良区（沖縄県）

- ・令和4年度から検討を進め、女性理事2名の登用を目標にした
- ・総代から役員推薦委員（女性理事の候補者を推薦する委員）を選出し、役員推薦委員が女性組合員との調整を行った

③ 候補となる女性に対する丁寧・熱心な説明（女性理事の声）



● 富良野土地改良区（北海道）

- ・理事長から打診を受けたとき、日程調整が難しいと感じ一度お断りした
- ・後日、役員には年間スケジュールが共有されることの説明と再度の打診があった



● 社川沿岸土地改良区（福島県）

土地改良区から熱心に理事就任の要請があり、引き受ける決心をした

女性理事を登用するうえでの工夫

④女性に安心して参画してもらうための配慮



●てしおがわ土地改良区（北海道）

- ・最低2名にする「ひとりじゃない」環境づくり
- ・土地改良区役員から「全力でサポートする」との言葉
- ・理事会の様子を撮影した動画を見ていただき、予め雰囲気をつかんでもらう

女性理事登用の効果



●山口市徳地土地改良区（山口県）

- ・土地改良区が地域の人が話に立ち寄る“地域のたまり場(情報交換の場)”になっている
- ・施設管理、農地の保全から栽培支援まで各組織をつなぐ“接着剤”として地域の力を高めてくれている

女性理事の定着に向けた工夫



●オロロン土地改良区（北海道）

土地改良区として、土地改良区運営に関する理解の手助けやご家族への配慮など、女性理事が定着しやすい工夫をしていきたい

就任した女性理事の声

●安来市土地改良区（島根県）

- ・これまで端で眺めていたほ場整備事業や施設の管理が様々な関係者の協力の下で行われているということが分かってきた
- ・多様な人材の参画を促すためにも知らないことによる不安や躊躇を取り除けるよう、土地改良区のことやその役割を広めていきたい
- ・土地改良区、農業委員会と地元の地主・耕作者等とのコミュニケーションを通じ、各者間の架け橋となることが現在の役割だと認識している



これから登用を予定している土地改良区へ



●巨椋池土地改良区（京都府）

あまりハードルを上げすぎないで女性目線の意見を取り入れようとする姿勢が大切